

科目名		授業形態	担当教員名	
福祉用具学		講義・演習	嘉納 綾	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
作業療法士は、福祉用具の専門家でもある。対象者の機能と環境を評価し福祉用具を選定するためには、用具の特性や使用方法を知っておく必要がある。ので、演習を通して学習していく。また、介護保険における福祉用具貸与・購入制度についても学習する。				
授業の到達目標				
1. 標準的な福祉用具を列挙し、特徴を説明できる。 2. 福祉用具を導入する際の留意点を説明できる。 3. 福祉用具の適応について説明できる。 4. 介護保険制度について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	福祉用具について			
2	自助具について			
3	整容・更衣、入浴、排泄			
4	食事、家事、余暇活動			
5	起居・床上			
6	移乗			
7	移動			
8	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%			
レポート・課題	20%	自助具レポートで評価する		
小テスト				
平常点				
その他	10%	講義内容についての予習で評価する		
自由記載	再試験は筆記試験を100%として成績判定する			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
新版 日常生活活動（ADL）第2版		伊藤利之・江藤文夫 編	医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
作業療法学全書 改訂第3版 第10巻 福祉用具の使い方・住環境整備		木之瀬隆 編	協同医書	
自由記載				
備考				
演習を行うので、動きやすい服装で参加すること。教科書を読む等の予習をしっかりと行うこと。				